



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 v2.30 リリースノート

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google[™]は、Google Inc.の商標です。

Google Chrome[™]は、Google Inc.の商標です。

Linux[®]は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat[®]は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

VMware[®]は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



リリースノート

説明

iLO 5 は、HPE サーバーおよびコンピュートモジュールのシステムボードに組み込まれたリモートサーバー管理プロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、アップデート、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。

アップデートの推奨事項

アップデートの推奨事項：推奨

旧バージョン情報

置き換えられるバージョン：2.18

製品

このリリースは、製品 HPE iLO5 に適用されます。

サポートされるデバイス

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のサーバーモデルでサポートされます。

- ・ HPE ProLiant BL460c Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL580 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL385 Gen10 Plus サーバー
- ・ HPE ProLiant DL385 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL325 Gen10 Plus サーバー
- ・ HPE ProLiant DL325 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL180 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL160 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL120 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML110 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML30 Gen10 サーバー



- ・ HPE ProLiant XL450 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL420 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL270d Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL230k Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL190r Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL170r Gen10 サーバー
- ・ HPE Apollo XL225n Gen10 Plus
- ・ HPE Apollo r2800 24SFF-Flex Gen10 CTO シャーシ
- ・ HPE Apollo r2600 24SFF-Prem Gen10 CTO シャーシ
- ・ HPE Apollo r2200 12LFF Gen10 CTO シャーシ
- ・ HPE Apollo 4510 Gen10 システム
- ・ HPE Apollo 4200 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant m750 サーバーブレード
- ・ HPE Synergy 660 Gen10 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 480 Gen10 コンピュートモジュール

オペレーティングシステム

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のオペレーティングシステムを搭載するサーバーで検証されました。

- ・ Microsoft Windows Server 2019
- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Red Hat Enterprise Linux 8 Server
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7 Server
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 15
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12
- ・ VMware ESXi 7.0
- ・ VMware ESXi 6.7
- ・ VMware ESXi 6.5

サポートされているブラウザ

iLO 5 は以下のブラウザの最新バージョンをサポートします。



推奨ブラウザ

- ・ Google Chrome モバイルおよびデスクトップ
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Microsoft Edge

Chrome、Firefox、Edge が iLO 5 で最高のパフォーマンスを提供します。

レガシーブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11

ブラウザ要件

iLO Web インターフェイスでは、以下の要件を満たすブラウザが必要です。

- ・ **JavaScript** - iLO Web インターフェイスは、クライアントサイド JavaScript を広範に使用します。
この設定は、すべての Internet Explorer バージョンではデフォルトで無効です。この設定を確認または変更するには、iLO ユーザーガイドを参照してください。
- ・ **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- ・ **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- ・ **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

言語

このリリースでサポートされる言語：英語、日本語、および簡体字中国語。

機能強化

次の機能強化は iLO 5 2.30 の一部です。

- ・ MCTP は、iLO の誤ったアラーム「デバイス/アダプターが応答しない」問題に対処しました。
- ・ 仮想ボタン押下によるシャットダウンが、iLO の拡張リセットの原因に含まれます。
- ・ iLO Web インターフェイスのライフサイクル管理 - 廃棄ページからのワンボタンセキュア消去プロセスの開始のサポート。
- ・ ユーザーアカウントロールは、定義済みの特権セットを提供するか、またはカスタムセットを定義することもできます。
- ・ 新しい HTML5 リモートコンソールモード：スタンドアロンモードと新しいウィンドウモード。
- ・ NVMe ドライブの電源をオンまたはオフにする仮想電源ボタン。この機能には、**ストレージ情報**ページの**物理ドライブ詳細**ペインからアクセスできます。
- ・ iLO インターフェイスを使用した最小ファン速度の構成。
- ・ ユーザーは、iLO インターフェイスを使用して、システムの温度構成設定を表示および変更できます。
- ・ NIC およびストレージオプションカードの PLDM ファームウェアアップデートのサポート。

- ・ 自動回復およびセーフモードに関する新しい REST アラート。
- ・ iLO Web サーバーが要求のソースを仮想 NIC 上のホストとして識別できるようになりました。
- ・ RDE 対応デバイスの読み取りのサポート。
- ・ ユニバーサル FWPKG 2.0 イメージのフラッシュのサポート。
- ・ Edgeline 8000 システムの電力測定値のサポート。
- ・ NVMe 直接接続ストレージを備えた U.2/UBM1/UBM3 のドライビングケータ LED のサポート (LED オンまたは LED オフ)。
- ・ iLO が工場出荷時のデフォルト設定になっている場合、仮想 NIC 機能はデフォルトで無効にされています。
- ・ iLO は、HTTP 接続経由のアクセスを防ぐように構成できます。
詳しくは、HPE iLO 5 ユーザーガイドのセキュリティに関するガイドラインを参照してください。

修正点

次の問題が iLO 5 2.30 で解決されました。

- ・ TCP/IP スタックに影響を与える可能性のある Ripple20 の脆弱性。
- ・ One-button セキュア消去完了後に、Synergy Compute Module の電源が入りません。
- ・ **iLO ファームウェア & OS ソフトウェア** ページから開始した SPS ファームウェアアップデートが失敗する可能性があります。
- ・ C クラスブレードは FRU 検出を完了しません。
- ・ Central Connect リモートサポート登録時に、必須フィールドが空白の場合、エラーメッセージが表示されません。
- ・ 仮想 NIC 機能が、SUSE Linux Enterprise Server 15 を使用したホストへの IP アドレスの提供に断続的に失敗します。
- ・ 多数のグループに対して Kerberos 認証が構成されている場合に、Zero サインインが失敗します。
- ・ iLO が、完全に事前設定された NVDIMM 構成で、工場出荷時のデフォルト設定に設定されている場合、iLO で CHIF 通信が失われることがあります。
- ・ ランダムなサーバーの電源再投入後、iLO Web インターフェイスで、直接接続された NVMe ドライブが消失することがあります。

問題と回避策

- ・ USB Ethernet アダプターで iLO サービスポートに接続するには、ASIX Electronics Corporation の AX88772 シリーズチップセットに基づいた USB 2.0 デバイスを使用する必要があります。
Hewlett Packard Enterprise は、Ethernet アダプターに HPE USB (部品番号 Q7Y55A) を使用することをおすすめします。
- ・ サーバープラットフォームサービス (SPS) ファームウェアまたはイノベーションエンジン (IE) ファームウェアをアップデートする際は、サーバーの電源を切る必要があります。サーバーの電源を切った後、30 秒待ってから SPS または IE ファームウェアのアップデートを開始してください。

- ・ iLO 5 のリリースでは、iLO Web インターフェイスの機能のいくつかが、RIBCL または CLI でサポートされていません。特に、iLO セキュリティ状態を設定したり、拡張されたユーザー権限を構成したりする場合、Hewlett Packard Enterprise では、代わりに iLO RESTful API の使用をおすすめします。
iLO RESTful API は、Gen10 およびそれ以降のシステム用の、優先プログラムインターフェイスです。優先 CLI およびスクリプティングツールは、RESTful インターフェイスツール (iLOREST) です。
- ・ iLO 5 1.20 以降の SNMP 設定は、iLO ファームウェアの旧バージョンとの下位互換性はありません。ファームウェアを旧バージョンにダウングレードすると、SNMP の設定は破棄されます。
- ・ iLO の Web インターフェイスを起動して HTML5 IRC を起動すると、これらのインターフェイスは 1 つの iLO セッションとしてカウントされます。この動作は、iLO の Web インターフェイスとは別のセッションとしてカウントされる .NET IRC および Java IRC とは異なります。
アイドル接続タイムアウトでは、ユーザーの操作がないまま経過し、自動的に終了するまでの時間を指定します。仮想メディアの操作 (OS のインストールなど) を開始し、アイドル接続タイムアウトに達した場合、HTML5 IRC および iLO の Web インターフェイスが自動的に終了し、仮想メディアの動作が中断されます。
この問題を避けるために、アイドル接続タイムアウトを大きな値に設定するか、他のリモートコンソールを使用するか、または仮想メディアの動作中にセッションがアイドル状態になっていないことを確認することができます。
- ・ NVIDIA GPU オプションカードを搭載した Linux サーバーで電力使用量レポートと最適なサーバーのサーマルファン制御をサポートするには、nouveau ビデオドライバーをブラックリストに登録し、コマンド `nvidia-smi -pm 1` を入力して NVIDIA GPU ドライバーを永続モードでロードします。
- ・ 特定の 2 ポートのパーソナリティ (InfiniBand/Ethernet) をサポートする HPE Mellanox アダプターでは、アダプターファームウェアのアップデート中にポートのパーソナリティがデフォルト値にリセットされます。
詳しくは、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにあるドキュメント [a00068199en_us](#) を参照してください。
このドキュメントには、アダプターファームウェアのアップデート前にインストールする最小バージョンとして iLO 5 1.37 を示しています。ただし、iLO 5 2.30 にアップデートするには iLO 5 1.48 以降が必要です。

前提条件

以前のバージョンの iLO からのアップグレード

iLO 5 バージョン 2.30 へのアップグレードは、iLO 5 1.48 以降がインストールされているサーバーでサポートされています。

以前のバージョンの iLO 5 がインストールされているサーバーでは、最初に iLO 5 1.48 以降をインストールしてから iLO 5 2.30 をインストールする必要があります。

たとえば、サーバーに iLO 5 1.10 がインストールされている場合は、iLO 5 1.48 以降をインストールしてから iLO 5 2.30 をインストールします。

iLO ユーティリティ

最適なパフォーマンスを実現するために、Hewlett Packard Enterprise では次のバージョンの iLO ユーティリティをおすすめします。

ユーティリティ	バージョン
RESTful インターフェイスツール (iLOREST)	3.0 以降
HPQLOCFG	5.2 以降
HPE Lights-Out XML PERL スクリプト ティングサンプル for Linux	5.30.0 以降
HPE Lights-Out XML スクリプト ティングサンプル for Windows	5.30.0 以降
Windows 用 HPONCFG	5.4.0 以降
Linux 用 HPONCFG	5.5.0 以降
HPLOMIG	5.20 以降

ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージに含まれます。iLO ライセンスについて詳しくは、Web サイト <https://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE iLO ライセンスガイドを参照してください。

セキュリティに関するベストプラクティス

セキュリティのベストプラクティスに関する最新情報は、Web サイト <https://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE Integrated Lights-Out セキュリティテクノロジー概要を参照してください。

セキュリティの修正

最新のセキュリティ情報と、iLO 5 で解決された脆弱性については、次の Web サイトの **セキュリティ報告書** を参照してください：<https://support.hpe.com/hpsc/public/home>。

インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPE iLO 5 ユーザーガイド

部品番号 ; 880740-198

版数 : 1

関連情報

iLO 5 の最新ドキュメントは <https://www.hpe.com/support/ilo-docs> で入手できます。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメー

ルには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

